

高 き を 求 め



勉学に打ち込み未来を開く

創立以来、伊那北高校は、地域の人々の期待にこたえ、地域と日本の明日をひらくことのできる力をそなえた人材の育成をめざし、校歌にもあるように「高きを求め」て勉学に打ち込むことを大切にしてきました。

こうして本校は90有余年の道のりをあゆみ、地元をはじめ、内外で活躍する卒業生の数は男女あわせて2万人を超えました。



ペンが剣より強し

The pen is mightier than the sword.

校章と本校の伝統

本校は大正9年、旧制の県立伊那中学校として開校され、昭和23年、長野県伊那北高等学校となりました。学園のある高台は、「薫ヶ丘」と愛称されています。

人類史上初の総力戦となり、多大な犠牲者を出した第一次世界大戦。その反省に立ち、国際連盟が組織されて世界的に軍縮・平和が議論されつつあったまさにその時、剣を図案化するという意見に対して、「ペンが剣より強し」の理想を掲げて、2本のペンをクロスさせた校章に決定したといわれています。

たぐえて行かんわが友よ!

みんなで作るキャンパスライフ

多彩な行事

- 4月 入学式・対面式
春期クラスマッチ
- 6月 ペン祭
- 9月 秋期クラスマッチ
中学生体験入学
合唱コンクール
強歩大会
- 11月 研修旅行(2年)
- 1月 理数科課題研究発表会
(理数科2年)
- 3月 卒業式



部活に熱中

平成25年度は、フェンシング部が全国高校総体等へ、写真部・将棋部が全国高校総合文化祭へ出場を果たしました。フェンシング部は世界ジュニアに出場するなど世界で活躍をしています。また、英語部もディベート全国大会準優勝するなど全国大会で活躍をしています。その他、多くの部が北信越大会・県大会に出場しています。



フェンシング



バスケットボール



サッカー

運動部

- 野球
- 男子バレー
- 男子バスケット
- 柔道
- 女子バレー
- 女子バスケット
- フェンシング
- 卓球
- 男子テニス
- 陸上
- サッカー
- 女子テニス
- 弓道
- ラグビー
- ソフトテニス
- 剣道
- バドミントン
- 水泳

学芸部

- 将棋
- 生物
- 家庭科
- 囲碁
- 化学
- 歴史研究
- 美術
- 物理
- イベント
- 文芸
- ギター
- プランニング
- 写真
- 吹奏楽
- ダンス
- 天文気象
- 音楽(合唱班)
- 漫画同好会
- 演劇
- 音楽(弦楽班)
- 園芸同好会
- 英語
- 書道
- 映画同好会



将棋



英語

★この学校案内には写真部のみなさんの作品が13点掲載されています。

普通科

4年生大学をはじめとする幅広い進路を実現できるカリキュラムで、教科学習はもちろんのこと、人間としての力を蓄えられるようなキャリア教育も充実しています。1年次は学習習慣を確立して社会常識を身につけ、2年次から文系・理系別の授業を取り入れて将来の進路を具体化します。3年次には各自の進路希望に合った科目の履修ができるようになっています。また、2年次には、クラス替えを行い、交友関係が広がっています。



授業風景



理数科

「自ら考え・自ら実験し・自ら創造し得る本物の力」を掲げ、基礎学力の充実をはかるとともに、実験・観察や演習などを通し、より広く深く自然科学や数学を学びます。大学の理学部、工学部、医学部、薬学部、農学部などで学び、この方面で活躍したいと考えている生徒が多く学んでいます。大学と連携して、より高度な内容を学習する取り組みも積極的に行っています。



生徒主体でおこなわれる課題研究発表会

豊かな理数科ライフ

理数科の特色のひとつは「課題研究」です。2年生になるとひとつのテーマを決めて、それに1年間じっくりと取り組み、自ら探求する態度を身につけます。研究テーマは理数に関するものなら何でもOKです。研究は毎年一冊の報告書にします。

昨年のテーマは、「マイクロ波送電実験～新世代のエネルギー宇宙太陽光発電～」「二重振り子の運動」「イワシの食性転換」「ニワトリ胚における体節形成」「2013年度CO₂屋外観測に対する考察～雨によるCO₂濃度上昇の抑制～」「身近な数学をインド式で考えよう」「伊那谷とミミズと土壌の関係」「水槽竜巻による竜巻の構造の考察」「授業中の教室におけるCO₂濃度と集中力・眠気の関係」でした。毎年ユニークな発表があり、新聞にも取り上げられています。

1～3年次にわたり、クラス単位で勉強する機会が多く、多くの先輩達が「仲間と希望する進路が同じで、いい刺激になった」とっており、切磋琢磨し合える環境にあります。また、研修旅行などの学校行事は普通科と一緒にこなされています。

進路を強力にサポート ～学力こそ伊那北の底力～

「ようこそ教授」「こんにちは先輩」「総合ゼミ」など豊富な講演会や体験活動を通じて生徒の大学進学等の進路実現を強力にサポートする指導体制と進路実績は高く評価され、「伊那北スタイル」として全国でも注目を集めています。また、65分授業を取り入れ、授業の中身をより濃くしています。日々の授業だけでなく、充実した補習や



自習室(高志館)

模試、自学自習の道場となる自習室、土曜日を活用する「クロスアカデミー」など生徒自らが「気づき、考え、行動する」場面を設け、生きる力を高める指導を行なっています。

本校卒業生が、司法、中央・地方の行政、自然科学や人文科学等の各学問研究、諸産業界、医療・福祉や教育・文化等の様々な分野の一線で活躍しています。



進路講演会

過去3年間の本校卒業生の主な合格大学と人数

- | | | |
|-------------|--------------|-------------------------|
| ● 東京大学 3人 | ● 金沢大学 13人 | ● 東京理科大学 17人 |
| ● 京都大学 4人 | ● 山梨大学 16人 | ● 日本大学 59人 |
| ● 北海道大学 3人 | ● 静岡大学 13人 | ● 明治大学 25人 |
| ● 東北大学 8人 | ● 神戸大学 3人 | ● 立教大学 18人 |
| ● 名古屋大学 21人 | ● 首都大学東京 10人 | ● 立命館大学 62人 |
| ● 大阪大学 3人 | ● 名古屋市立大学 5人 | ● 同志社大学 20人 |
| ● 一橋大学 1人 | ● 早稲田大学 39人 | |
| ● 筑波大学 9人 | ● 慶応義塾大学 16人 | ● 国公立大学合格者延べ数 386人 |
| ● 横浜国立大学 8人 | ● 国際基督教大学 2人 | ● 国公立大学医学部医学科合格者延べ数 19人 |
| ● 千葉大学 19人 | ● 上智大学 4人 | ● 私立大学合格者延べ数 1021人 |
| ● 信州大学 77人 | ● 中央大学 35人 | |



普通科と理数科について

Q1 どちらの科が大学進学に有利ですか？

A 一概にどちらとはいえません。

大切なことは自分が将来どのような進路を目指し、どのような力を高めたいと考えているかということです。現時点で理系(理学・工学・医学など)への進学希望を固めている人は、理数科で「課題研究」等の学習を通して科学的な探究力を高めることが将来大きな力になるといえますが、どちらの科のほうが直接進学に有利ということはありません。

Q2 学校生活を送る上で、科による違いはありますか？

A 授業の科目(教育課程)以外の違いはありません。

日課(授業時間など)は同じで、クラブや生徒会、クラスマッチや研修旅行などの行事も、科の区別なく、一体となって行われています。



入試等について

Q1 入試の方法はどうなっていますか？

A 前期選抜は自己推薦入試になっており、理数科において実施します。提出書類、作文、面接により選考します。募集人員は定員の90%です。

後期選抜は、提出書類と筆記試験により選考します。理数科については、数学と理科が1.5倍の傾斜配点となります。

Q2 普通科を第2志望にすることはできますか？

A 後期選抜では可能です。理数科を第1志望、普通科を第2志望とすることができます。その逆も可能です。

Q3 入学後、転科はできますか？

A 履修する授業科目(教育課程)の違いにより転科は**できません**ので、十分考えて志願してください。



その他

Q1 土曜日に学校として何か工夫していることはありますか？

A 本校は午前3時間の**土曜日授業**を年14回実施しています。その他にも、「クロスベンアカデミー」という組織があり、**年2回の講演会、模擬試験の実施、自習室の開放、希望者に対する補習授業の実施**など、生徒の学力向上のための手だてを講じています。

Q2 教科の学習とクラブ活動は両立できますか？

A 自由な雰囲気の中で学習と特別活動を通し豊かな人間性を養うことを教育目標としていますので、**両立できることを目指し、多くの生徒がクラブ活動に参加しています。**

本校では教科学習や進路指導等で生徒のみなさんを手厚くサポートしていますが、生徒会やクラブなどの特別活動も重要だと考えて、放課後を中心に活動を保障しています。

Q3 65分授業だと聞きましたが、本当ですか？

A 本校では、一般的な授業より15分長い**65分授業**を実施しています。この15分は、各教科でより質の高い充実した授業を目指し、有効に使われています。**1日5時限**なので、より集中した予習・復習を行うことができます。また、1年間に前期と後期に分け、**2期制**としています。



表紙写真：3E 熊谷佳奈 “Water Cherry blossom”
県高校写真展 優秀賞



2014 CAMPUS GUIDE
長野県伊那北高等学校

〒396-8558 長野県伊那市山寺2165
TEL.0265-72-2221(代表)
FAX.0265-76-8969
<http://www.nagano-c.ed.jp/ina/>